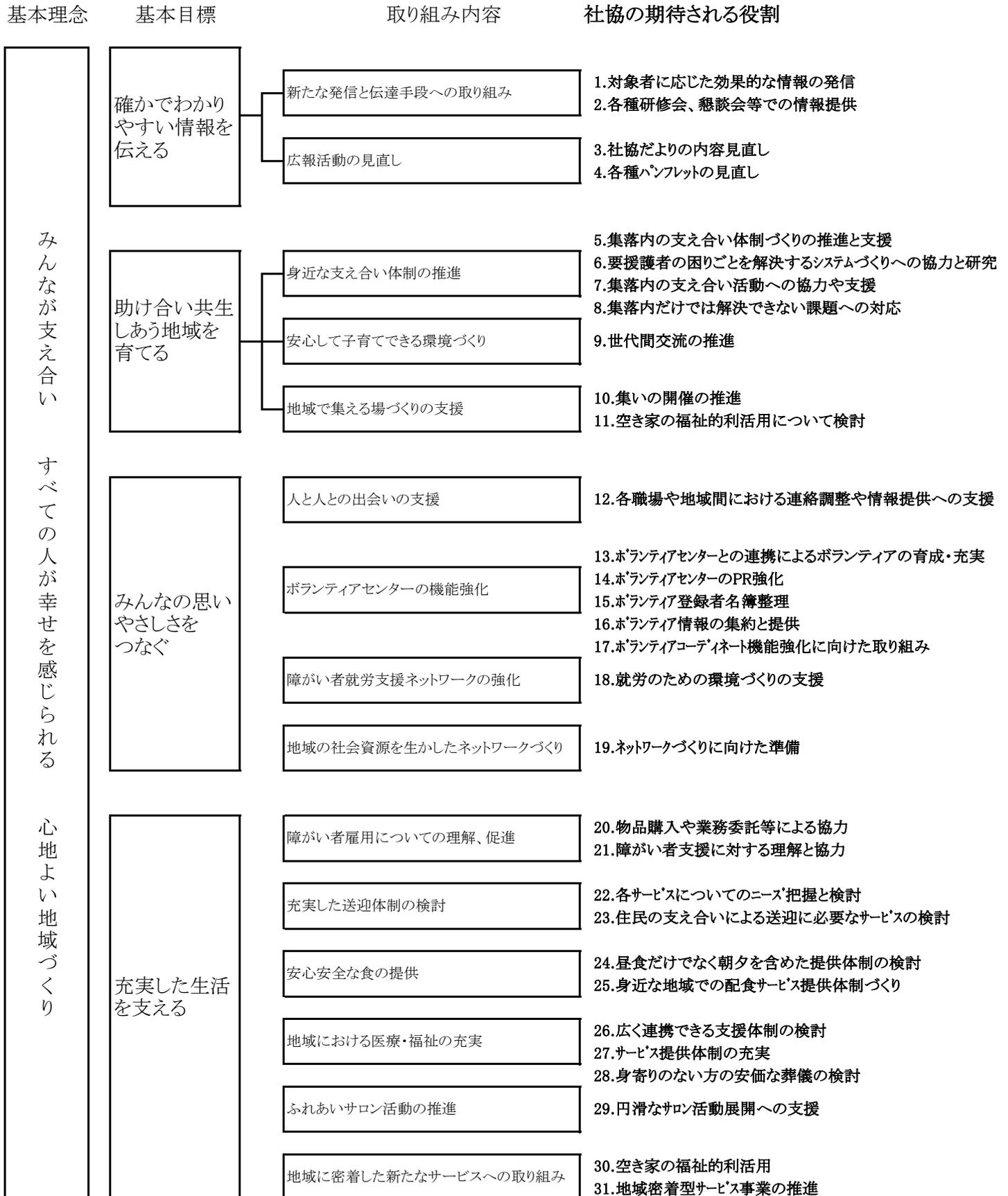


若狭町地域福祉活動計画体系図

地域福祉活動計画における社協の期待される役割を果たすため事業に取り組みます。



評価について

《評価方法》

社協の期待される役割に対して、どの程度達成できたかを評価するために、各部署で取り組んだ内容について利用者家族、関係機関、イベント参加者等を対象としたアンケート調査を実施し、その結果と自己評価を総合的に評価しました。

《評価ランク》

AランクからEランクまでの5段階とし、具体的な取り組みの成果について評価しました。

- Aランク：大いに成果を上げた
- Bランク：一定の成果を上げた
- Cランク：半分程度の成果を上げた
- Dランク：少し成果を上げた
- Eランク：ほとんど成果があがらなかった

《評価点》

評価ランクをもとに評価を数値化しました。

- Aランク:5点
- Bランク:4点
- Cランク:3点
- Dランク:2点
- Eランク:1点

《評価結果》

各事業の評価点をもとに、社協事業全体の評価点(平均値)は、3.25点で達成率は65%でした。

第2次地域福祉活動計画評価 (平成24年度社協事業)

- 【事業名】 小地域福祉活動推進事業
- 【基本目標】 助け合い共生しあう地域を育てる
充実した生活を支える
- 【取り組み内容】 身近な支え合い体制の推進
安心して子育てできる環境づくり
地域の社会資源を活かしたネットワークづくり
充実した送迎体制の検討
ふれあいサロン活動展開への支援
- 【期待される役割】 集落内の支え合い体制づくりの推進と支援
要援護者の困りごとを解決するシステムづくりへの協力と研究
集落内の支え合い活動への協力や支援
集落内だけでは解決できない課題への対応
世代間交流の推進
ネットワークづくりに向けた準備
住民の支え合いによる送迎に必要なサービスの検討
円滑なサロン活動展開への支援
- 【評価点】 3.2点 《達成率64%》
(小地域福祉活動推進セミナー)
7月14日に実施。地区活動の取り組みや、送迎ボランティア事例の紹介を行った。アンケート結果では、多くの方から取り上げたテーマが良かったとの評価をいただいた。
参加者人数については、例年同様伸び悩んだ。事例で紹介した送迎ボランティア活動がきっかけで、町内でも実践につながったことは大きな成果であったと考える。
(小地域福祉活動推進モデル事業)
昨年同様モデル集落を指定したが、モデル集落の取り組みに深くかかわることができなかった。集落が一丸となって良い活動ができたところもあるが、少し活動内容が行き詰まってきた感じがする。うまくモデル集落が機能する方法を考える必要がある。
- 【今後の取り組み】 (小地域福祉活動推進セミナー)
平成25年度も継続して取り組む。小地域福祉活動について、いろんな切り口からセミナーを実施することで、新たな活動が生まれるきっかけとなるようなセミナーを目指す。
(小地域福祉活動推進モデル事業)
平成25年度からは、モデル集落の代表者を集めた連絡会を開催することで、モデル集落同士の意見交換の場を作っていく。

第2次地域福祉活動計画評価 (平成24年度社協事業)

- 【事業名】 福祉委員活動推進事業
- 【基本目標】 みんなの思い、やさしさをつなぐ
充実した生活を支える
- 【取り組み内容】 人と人との出会いの支援
地域の社会資源を活かしたネットワークづくり
- 【期待される役割】 各職場や地域間における連絡調整や情報提供への支援
ネットワークづくりに向けた準備
- 【評価点】 2.6点 《達成率52%》
(地区単位での福祉関係者の連携に向けた取り組み)
地区別の福祉懇談会について、各地区2回までの開催を計画し、地区別地域支え合い
検討会議の意向や進み具合を見ながら必要に応じて開催した。検討会議の結果や活動
を地区内の福祉関係委員に周知する場として有意義な懇談会ができた地区もあったが、
全く開催できなかった地区もいくつかあった。
(地区福祉委員会の立ち上げに向けた検討)
平成23年度から引き続き、福祉課を中心に協力して地区別検討会議を開催した。今年度
は、一部福祉課の一方的な推進で救急キットの配布を活動の中心に持って行ったこと
により、23年度からの課題が検討できない地区がいくつかあった。
明倫地区については、送迎ボランティア活動を開始することができた。
- 【今後の取り組み】 (地区単位での福祉関係者の連携に向けた取り組み)
平成25年度からは、地域づくり協議会が各地区で立ち上がる。また、福祉委員や老人家庭
相談員の改選、冬には民生委員の改選があるため、新しい委員に代わっても引き続き連携
がとれるよう懇談会を開催していく。
(地区福祉委員会の立ち上げに向けた検討)
平成25年度は、地域づくり協議会の福祉部会に内容を引き継いで検討していくこととなる
ため、検討会議で議論してきた内容が活かされるよう推進していく。

第2次地域福祉活動計画評価 (平成24年度社協事業)

【事業名】	ふれあいサロン推進事業
【基本目標】	助け合い共生しあう地域を育てる 充実した生活を支える
【取り組み内容】	安心して子育てできる環境づくり 地域で集える場づくりの支援 ふれあいサロン活動の推進
【期待される役割】	世代間交流の推進 集いの開催の推進 空き家の福祉的利活用について検討 円滑なサロン活動展開への支援
【評価点】	2.5点 《達成率50%》 (ふれあいサロン活動の推進と支援) サロン世話人を対象にしたレクリエーションボランティア講座を開催。講師の指導が素晴らしくアンケート結果も総じて好評であった。また、要望があった集落については、レクリエーション用具の貸出、講師紹介、運営に関する相談には対応でき、ある程度は達成できた。 (ふれあいサロン送迎[サービスの実施と改善]) 現状、送迎車両がサロンバスで使用している1台しかなく、サロンバスの空き時間しか送迎出来ない状態。より利用しやすくするためには、サロンバスの時間変更も必要になってくるが、台数が1台しか使用できないため現状は不可能。24年度から地域で支える送迎サービス車両が整備され、サロン1団体にも利用してもらったが思うほど少なかった。地区でのボランティアによる送迎体制が立ち上がったところもあるので、将来的にサロンでの利用してもらえれば改善につながるのではと思う。
【今後の取り組み】	(ふれあいサロン活動の推進と支援) 現状のサロン団体に対して、24年度同様に希望がある集落に対応する。 (ふれあいサロン送迎[サービスの実施と改善]) 地域で支える送迎サービス車両をサロン送迎に利用してもらい、少しでも緩和できるよう、促していく。

第2次地域福祉活動計画評価
(平成24年度社協事業)

【事業名】	外出支援サービス事業
【基本目標】	充実した生活を支える
【取り組み内容】	充実した送迎体制の検討
【期待される役割】	各サービスについてのニーズ把握と検討
【評価点】	2.0点 <達成率40%> (外出支援サービス事業の見直し) 関係機関との検討会議を設ける事が出来ず、見直しについては成果をあげる事は出来なかったが、利用者の要望に少しでも沿えるよう調整する事ができたので、少しは成果をあげる事ができた。
【今後の取り組み】	(外出支援サービス事業の見直し) 利用者に携わりのある関係者と解決に至っていない課題(外出支援の多様な使い方、緊急利用の拡大など)や新しく出てきた課題に対して密度の濃い検討会議を行い、利用者が使い易いよう体制を考えていく。又、利用される方が、入所、入院等で減少しているの で、PR等での周知方法を考えていく。

第2次地域福祉活動計画評価
(平成24年度社協事業)

【事業名】	福祉バス(サロンバス)運営事業
【基本目標】	充実した生活を支える
【取り組み内容】	充実した送迎体制の検討
【期待される役割】	各サービスについてのニーズ把握と検討
【評価点】	3.0点 《達成率60%》 (サロンバスのニーズに合わせた柔軟な対応) サロンバスに対するニーズ調査を行った結果、どの項目においても満足されている方がほとんどであったが、具体的な取り組みについては実施しなかったため。
【今後の取り組み】	(サロンバスのニーズに合わせた柔軟な対応) 往路1便目を早めてほしいとの意見もあったため、運行時間の検討を行う。 〈課題〉 他の公共交通機関の運行との関係。 今年度は、町としてオンデマンドバス導入を考えており、今後の動向を見ながら検討する必要がある。

第2次地域福祉活動計画評価 (平成24年度社協事業)

【事業名】	日常生活自立支援事業
【基本目標】	確かでわかりやすい情報を伝える 助け合い共生しあう地域を育てる 充実した生活を支える
【取り組み内容】	新たな発信と伝達手段への取り組み 身近な支え合い体制の推進 地域における医療・福祉の充実
【期待される役割】	対象者に応じた効果的な情報の発信 集落内の支え合い体制づくりの推進と支援 広く連携できる支援体制の検討 サービス提供体制の充実
【評価点】	3.0点 <達成率60%> (日常生活自立支援事業の推進) 広報誌への掲載など制度の周知に努めたが、契約件数が伸びなかったため。 研修や連絡会には、積極的に参加し、理解を深めることができたため。
【今後の取り組み】	(日常生活自立支援事業の推進) 広報はじめ、関係機関への周知に努める。 <課題> 関係機関から事業利用の相談はあるが、金銭管理というデリケートな問題であるため、 契約まで結びつかないケースが多い。 特に家族の理解が得られない。 今後も研修会や連絡会については、積極的に参加し、支援の向上に努める。

第2次地域福祉活動計画評価 (平成24年度社協事業)

【事業名】	ボランティアセンター運営事業
【基本目標】	確かでわかりやすい情報を伝える 助け合い共生しあう地域を育てる みんなの思い、やさしさをつなぐ
【取り組み内容】	新たな発信と伝達手段への取り組み 身近な支え合い体制の推進 ボランティアセンターの機能強化
【期待される役割】	対象者に応じた効果的な情報の発信 集落内の支え合い体制づくりの推進と支援 ボランティアセンターとの連携によるボランティアの育成・充実 ボランティアセンターのPR強化 ボランティア登録者名簿整理 ボランティア情報の集約と提供 ボランティアコーディネート機能強化に向けた取り組み
【評価点】	2.2点 《達成率44%》 (ボランティアセンター登録者名簿の有効活用) 当センターへの登録を更新制にしたことで、新しい、生きた情報を得ることはできたが、その情報をあまり活かすことができていない。ニーズ調査も実施したが、現時点で(時期的なこともある)ボランティアニーズが少なく、登録者への活発な情報提供には至っていないため。 (誰でも気軽に利用できる拠点づくり) 各事業所に合わせたボランティアセンターの看板設置とボランティア情報コーナーの備品整備はできたが、活用には至らなかったため。 (ボランティアコーディネートの機能強化) ボランティアセンターのPRを含め、住民への働きかけが不十分であり、あまりボランティアニーズが挙がってこないため、登録者などに提供できるだけの情報がない(登録者の情報を活かしていない)。 (ボランティア活動の推進) 「ボランティアの日」の取り組みの他に、レクボラ講座や出前講座の実施など、新たな取り組みができ好評だったが、ボランティアセンターのPRを含め、住民への働きかけが不十分であったため。
【今後の取り組み】	(ボランティアセンター登録者名簿の有効活用) ・ボランティアセンターへの登録呼びかけ。全体の登録者が少なく、分野によって登録者数

に偏りがあるので、ボランティアニーズが挙がってきてもその内容によっては対応できない。
また、登録者の高齢化が進んでいる。若い世代(20~40代)の方にも積極的に登録の呼びかけを行う。また、団体登録も呼びかける。

- ・ボランティア登録者名簿の更新(1年ごと)※個人および団体
- ・定期的なボランティアニーズ調査の実施

調査を実施することで、ニーズの発掘だけでなく、センターについても知ってもらう。

- ・ボランティアセンターPR

(誰でも気軽に利用できる拠点づくり)

- ・各事業所、地域特性に応じた整備を進める。
- ・ボランティア情報紙(新聞)発行を検討する。

- ・ボランティアセンターPR

(ボランティアコーディネートの機能強化)

- ・ボランティア登録用紙の見直し
- ・ボランティア相談の記録化

今まではボランティアの相談があっても記録を残すことをしていなかったため、件数や相談内容が曖昧になっており現状を把握しにくく、同様のケースが挙がってきても前の実績やノウハウを活かしにくかった。今後はニーズ受付用紙などを利用して記録化していく。

- ・的確かつ迅速なコーディネート方法の確立
- ・「ボランティア出前講座」の継続実施
- ・住民のニーズに合わせたボランティアイベント・研修会の検討・実施

- ・ボランティアセンターPR

(ボランティア活動の推進)

- ・ボランティア登録用紙の見直し
- ・ボランティア情報発信・提供方法の見直し
- ・ボランティアセンターPR

第2次地域福祉活動計画評価 (平成24年度社協事業)

【事業名】	共同募金委員会事業
【基本目標】	確かでわかりやすい情報を伝える 助け合い共生しあう地域を育てる
【取り組み内容】	新たな発信と伝達手段への取り組み 広報活動の見直し 身近な支え合い体制の推進
【期待される役割】	対象者に応じた効果的な情報の発信 各種研修会、懇談会等での情報提供 社協だよりの内容見直し 各種パンフレットの見直し 集落内の支え合い体制づくりの推進と支援
【評価点】	2.75点 <<達成率55%>> (公開審査の推進) 24年度は、少し形をかえ助成を受ける団体と寄付者の交流というところに重点を置き、公開プレゼンを含む『赤い羽根共同募金交流会』を開催しアンケート結果も総じて好評だった。 (住民の共同募金への参加促進) 『赤い羽根共同募金交流会』においても周知、PRを実施。アンケート結果からも、概ね十分ではないかという結果であった。 (寄付者の思いに沿った助成事業の実施) 出来る限り、多くの方に恩恵がいくようにという思いから、従来の交流会形式から『介護者リフレッシュ事業』に変更した。参加者は昨年より多かったが、思うような結果ではなかった。 (メディアの活用) ケーブルTVでの呼びかけを行ったが、結果的に2団体であった。
【今後の取り組み】	(公開審査の推進) 『赤い羽根共同募金交流会』に形をかえて、その中で公開プレゼンを実施し、内容的にも総じて好評であったため継続実施する。 (住民の共同募金への参加促進) 中学生や助成団体には街頭募金等に協力依頼する。中学生にはそれぞれ家族がいるので、子どもや孫が街頭募金に参加すると聞けば自ずと、参加促進につながるので幅広い世代に地道なPRが必要。『赤い羽根共同募金交流会』でもPRする。 (寄付者の思いに沿った助成事業の実施) 助成事業については、前年の反省、活動計画の内容も考慮し内容を計画し実施していく。 (メディアの活用) 継続して協力を促す。

第2次地域福祉活動計画評価
(平成24年度社協事業)

【事業名】	ふくしの資金貸付事業
【基本目標】	充実した生活を支える
【取り組み内容】	地域における医療・福祉の充実
【期待される役割】	サービス提供体制の充実
【評価点】	4.0点 <<達成率80%>> (相談業務の確立) 新規ケースは必ず受付票へ記入し、個別ケースファイルを作成。 既存ケースについても、記録があるものについては個別ケースファイルを作成したため。 (調査委員会の定期開催検討、実施) 心配ごと相談員連絡会で事例紹介を行い、調査委員へのアンケートでも参考になったとの回答が多かったため。
【今後の取り組み】	(相談業務の確立) 引き続き個別ケースファイルの作成を行う。 また、研修会等へは積極的に参加し、相談支援のスキルアップを目指す。 <課題> 担当者不在時の対応。 (調査委員会の定期開催検討、実施) 今年度に引き続き、心配ごと相談員連絡会にて事例紹介を実施。 民生委員改選時期でもあり、勉強会開催予定。 <課題> 事業特性から、年間通じて相談件数もあまり多くないため、あまり事例を身近に感じてもらえない。

第2次地域福祉活動計画評価 (平成24年度社協事業)

【事業名】	生活支援ハウス運営事業
【基本目標】	充実した生活を支える
【取り組み内容】	地域における医療・福祉の充実
【期待される役割】	広く連携できる支援体制の検討 サービス提供体制の充実
【評価点】	4.0点 《達成率80%》 (利用者の幅広いニーズに沿った運営) 要介護者や短期入居者の受け入れを行った。 (個別対応や長期入居などの充実に向けた検討) ・入居者の現状は自宅復帰に向けた方は一部である。 ・居室はきれいで入居前の説明時も好評である。 ・食事はいつも美味しいと好評である。 ・冬季から春先にかけて、いつまでおれるのかと不安を言われる入居者が見受けられる。 ・入居者の状況に応じた利用期間設定を望む意見がある。
【今後の取り組み】	(利用者の幅広いニーズに沿った運営) ・介護施設ではないが、自立支援対象でない方の入居状況を考慮すると、居室料は検討の必要があると思われる。 ・判定基準の見直し (個別対応や長期入居などの充実に向けた検討) ・入居者個別の要望に合わせて必要であれば自宅復帰に向けての生活訓練をする。 ・冬季には二人部屋他人同士で相部屋という使い方を実施、入居者のいざこざもなかったが、トイレの共有等もあり今後も課題である。 ・陽のあたる所での井戸端会議のスペースを設けて居室から出てきてもらう。 ・12月の入居者については、入居希望者が多く平等にする為6ヶ月で期間を区切り再申請をすることになる。 ・12ヶ月を超えても入居希望の方がいるが、ケアマネや各関係者と連絡調整し、退居後の行先、居住地を決めて行けるよう、キーパーソンに促していく。

第2次地域福祉活動計画評価
(平成24年度社協事業)

【事業名】	リラクゼーション施設運営事業
【基本目標】	確かでわかりやすい情報を伝える
【取り組み内容】	広報活動の見直し
【期待される役割】	各種パンフレットの見直し
【評価点】	3.0点 <<達成率60%>> (住民等への周知) ・風呂の入浴者の実績は伸びている。 ・回数券の利用者も多く、リピーターが多いことがわかる。 ・各事業所の窓口等に配置したのみで、十分なPRが出来なかった。 (施設の有効利用と新規サービスの検討) ・風呂の設備上の意見や要望がある。 ・マッサージスタッフが曜日限定で常駐することができた。 ・休憩室の有効利用が出来なかった。
【今後の取り組み】	(住民等への周知) ・PR活動(近隣の企業等へのチラシ配布) ・カットハウスの営業日・休業日の住民への周知方法を検討する。 (施設の有効利用と新規サービスの検討) ・マッサージサービスの定着と新規スタッフの参加の検討 ・施設使用料の見直し ・マッサージコーナー共有スペースの有効活用を検討する ・風呂のタイル修繕の実施

第2次地域福祉活動計画評価 (平成24年度社協事業)

【事業名】	食事サービス事業
【基本目標】	充実した生活を支える
【取り組み内容】	安心安全な食の提供
【期待される役割】	昼食だけでなく朝夕を含めた提供体制の検討 身近な地域での配食サービス体制づくり
【評価点】	<p>3.95点 《達成率79%》</p> <p>(食事サービス対象者のニーズ調査) アンケートの結果、味、量、盛付、価格など適当・健康面に配慮されているかなど概ね良好の結果だった。味付見直し・レンジ対応カップ切替など細かい対応が高評価につながった。 (食の自立支援事業とまごころ給食の見直し) お弁当の対象条件やセット内容など見直したことにより利用が増加傾向にある。 利用しやすくなったという意見をいただいた。 (共同募金を活用してお弁当補助を考える) 配食ボランティアの意見交換会でいただいた意見を地域事業と一緒に検討し「おせち」を実施したところ大変好評だった。 (朝昼夕の配食サービスの取り組み) 夕食のニーズが数件あがりすぐに対応することができた。 (真空調理法の研究と拡大・特別食の充実) 五湖の郷と支援ハウス用の朝食ストック、みさき用のストック作りなど実施し軌道にのせることができた。 (各地区での配食サービスと民間サービスとの連携を図る) 問い合わせがあった時に紹介をした。 (ボランティアの輪 呼びかけ) 広報による募集と口コミによる呼びかけを行った。ボランティアの意見交換会と試食会実施。 (選択メニュー方式の取り組み) デイサービスのバイキング、お楽しみ鍋やちらし寿司パーティーを実施したところ大変喜んでいただいた。</p>
【今後の取り組み】	<p>(食事サービス対象者のニーズ調査) 満足度アップに努める。 (食の自立支援事業とまごころ給食の見直し) 今後はレンジ対応のおかずカップ使用また味付・盛付・衛生管理に細心の注意を払って実施していく。 (共同募金を活用してお弁当補助を考える) おせち配布の対象見直し。配食利用者→生活保護世帯とする。 (朝昼夕の配食サービスの取り組み) 夕食対応として調理後すぐに冷却をして昼食と一緒に配達し利用者宅の冷蔵庫へ、また</p>

デイ利用後に持ち帰りなどの方法で要望に答えていく。

(真空調理法の研究と拡大・特別食の充実)

従来の調理法と真空調理法をうまく組み合わせて「みさき」をはじめ各事業の食事を充実させていく。「みさき」へはストック食材を搬送するため月1回程度調理員を派遣して作り立てを食べていただけるような体制を組んでいく。

(各地区での配食サービスと民間サービスとの連携を図る)

社協で対応できない場合は民間サービスと連携を取り、どんな対応をとることが良いかを検討し進める。

(ボランティアの輪 呼びかけ)

社協だよりによる呼びかけ、口コミを続ける。

(選択メニュー方式の取り組み)

利用者さんの声に耳を傾けて喜んでいただけるような楽しい企画を一步ずつ進めていく。

第2次地域福祉活動計画評価
(平成24年度社協事業)

【事業名】	葬祭事業
【基本目標】	充実した生活を支える
【取り組み内容】	地域における医療・福祉の充実
【期待される役割】	身寄りのない方の安価な葬儀の検討
【評価点】	4.0点 《達成率 80%》 (すべての人が安心して故人様をお送りできるサービスの充実) 斎場予約対応、マイクロバス送迎対応、霊柩車の対応、斎場での職員の対応についてアンケート回答者61名中、よかったとの回答が8割、不満と答えた人は、いなかった。しかし、身寄りのない人への簡易葬が実施できなかった。
【今後の取り組み】	(すべての人が安心して故人様をお送りできるサービスの充実) 看板がない為、遠方の親戚が別れに立ち会えなかった他、看板設置の要望があった。看板設置に向けて役場・地域住民への働きかけを検討する。 斎場での簡易葬については、利用したいとの回答が昨年より増え56%あり、利用したくないとの回答は減っている。簡易葬の実施について引き続き検討をする。 収益事業として大型犬用棺の製作販売を検討する。

第2次地域福祉活動計画評価 (平成24年度社協事業)

【事業名】	居宅介護支援事業
【基本目標】	充実した生活を支える
【取り組み内容】	地域の社会資源を活かしたネットワークづくり 地域における医療・福祉の充実
【期待される役割】	ネットワークづくりに向けた準備 広く連携できる支援体制の検討 サービス提供体制の充実
【評価点】	3.8点 <達成率 76%> (安心した在宅生活の維持) アンケートの結果により、安心した在宅生活を維持する上での支援として、訪問による相談介護保険サービスの説明、書類手続きの援助、言葉使いや態度への誠実さ等は出来ている。しかし、サービス担当者会議において、前年度の結果より本人、家族の出席は増えているものの、まだ不十分と捉え、引き続き今後の課題と思われる。 (職員の資質向上) H24年度の取り組み内容である医療面の研修への参加について、難病患者や医療度の高い方についての研修、医療分野を含めた多職種との連携に関する研修等を重点的に参加することができたが、自己評価において資質向上に繋がる研修に参加できていると感じているのは60%であった。
【今後の取り組み】	(安心した在宅生活の維持) ・サービス担当者会、カンファレンス開催時に、本人、家族の出席を呼びかけ、本人、家族の思いをサービス担当者間で共有し、安心できる在宅生活へと結びつける支援を行う。 ・医療サービスを必要とする方が増えているため、医療機関、行政、地域との連携を図る。 (職員の資質向上) ・多職種連携に関する研修への参加 ・ケア会議等身近に参加できる研修において、内容によっては多数で参加する体制を取ると共に、H24年度の取り組みであった1名が参加し、内容について他職員に確実に伝える事についても継続して取り組む。16

第2次地域福祉活動計画評価 (平成24年度社協事業)

【事業名】	通所介護事業パレア若狭
【基本目標】	充実した生活を支える
【取り組み内容】	地域における医療・福祉の充実
【期待される役割】	広く連携できる支援体制の検討 サービス提供体制の充実
【評価点】	<p>3.6点 《達成率 72%》</p> <p>(日常生活動作を維持できるよう質の高いサービス提供を目指す)</p> <p>介助方法等については、アンケート調査から高い評価を受けることが出来た。が、自己評価より、言葉遣いについては十分に出来ていないという評価あり。</p> <p>(医療・福祉サービスとの連携を深め、サービス向上を目指す)</p> <p>関係機関との連絡調整については、昨年評価同様、迅速に対応が出来たと思う。</p> <p>(要介護者の心身の特性を踏まえ、在宅生活が維持継続できるよう支援する)</p> <p>自立支援を目的だが、必要以上な介護を提供している。時間に余裕がなく、つい手を出してしまうという傾向あり。</p> <p>(介護から快護へ)</p> <p>利用者アンケート結果では、前回に引続き満足したサービスが受けられるという高評価を受けることができた。しかし、対応するスタッフによって満足度が相違するという意見あり。</p> <p>(リハビリテーションの推進)</p> <p>デイサービスに通う事がリハビリの一環としている。1日を通じて、レクリエーションの際には、集団体操を取り入れながら活動。満足しているという評価を受けている。また、個別対応にて歩行訓練等実施しているケース有。</p> <p>(活動しやすい環境づくり)</p> <p>季節に応じた行事を取り組むことが出来た。秋祭り等企画し、地域の方々との交流を図る目標も達成できた。</p> <p>(多様化するサービスニーズへの対応)</p> <p>前年度に掲げた取組みがあまり達成できなかった。個別に対応しているケースが少ない。</p>
【今後の取り組み】	<p>(日常生活動作を維持できるよう質の高いサービス提供を目指す)</p> <p>職員間同士の声かけ、気付き、自分自身を見直す機会を設け、資質向上に取り込む</p> <p>(医療・福祉サービスとの連携を深め、サービス向上を目指す)</p> <p>各種関係機関との連携方法についての見直し(窓口を一つにし、情報が一括して出来るような体制とする。←H25. 3月～取り組み開始)</p> <p>(要介護者の心身の特性を踏まえ、在宅生活が維持継続できるよう支援する)</p> <p>職員全員がデイ本来の目的、自立支援であるという事を再度認識。在宅生活の延長である事を重視してのサービス提供を行う。</p> <p>(介護から快護へ)</p>

課題:職員の資質向上(全スタッフが同じ対応が出来るように、常に情報共有を密にし、サービス満足度を高める。)

(リハビリテーションの推進)

リハビリ体操についても、新しいプログラムを追加し、在宅生活に役立つような活動リハビリを主とし、常に新鮮味のある体操にする等、ワンパターン傾向にならないよう内容を検討。

(活動しやすい環境づくり)

季節に応じた行事・室内装飾を取り入れ外に出なくても季節感を味わうことができるような工夫をする。

(多様化するサービスニーズへの対応)

課題:選択方式のサービスメニューを実施となると、グループごとに職員配置をしなければならぬ。人員体制の見直しが必要。

第2次地域福祉活動計画評価 (平成24年度社協事業)

【事業名】	通所介護事業いずみ
【基本目標】	充実した生活を支える
【取り組み内容】	地域における医療・福祉の充実
【期待される役割】	広く連携できる支援体制の検討 サービス提供体制の充実
【評価点】	4.0点 ≪達成率80%≫ (日常生活動作を維持できるよう質の高いサービス提供を目指す) グループ活動を通し生活リハビリに取り組む事ができた。病院にて認知症状が緩和されていると報告があった。(認知予防に繋がった。) (医療・福祉サービスとの連携を深め、サービス向上を目指す) 病院と連携し、治療に取り組めた。訪問介護、ヘルパーとの連携が図れた。 (要介護者の心身の特性を踏まえ、在宅生活が維持継続できるよう支援する) 職員間の報告、連絡等が不十分だった。内部研修(緊急時対応)ができなかった。 (介護方針の統一) 業務時間見直しによりミーティング時間を取る事ができ、介護方針の見直しが出来た。 (利用者満足度の向上) 野外活動が充実でき、午後の時間を有効に使用することができ利用者に好評だった。
【今後の取り組み】	(日常生活動作を維持できるよう質の高いサービス提供を目指す) グループ活動をさらに強化し、生活に密着した認知予防に取り組む。 <課題>要支援のみならず要介護者の活動をどう取り組むか。 (医療・福祉サービスとの連携を深め、サービス向上を目指す) 担当者会議を強化する。 <課題>内部ケアマネの連絡が取りにくい。 (要介護者の心身の特性を踏まえ、在宅生活が維持継続できるよう支援する) 緊急時対応の強化。職員間の報告、連絡、相談の強化。 <課題>業務中の報告等が出来にくい。 (介護方針の統一) 実務指導、研修を行い安心、安全な介護を目指す。 (利用者満足度の向上) 幅広い野外活動に力を入れ、小規模なみのレク活動を実施していく。ADLに応じたレク活動の実施に努める。

第2次地域福祉活動計画評価 (平成24年度社協事業)

【事業名】	通所介護事業五湖の郷
【基本目標】	充実した生活を支える
【取り組み内容】	地域における医療・福祉の充実
【期待される役割】	広く連携できる支援体制の検討 サービス提供体制の充実
【評価点】	3.4点 《達成率68%》 (日常生活動作を維持できるよう質の高いサービス提供を目指す) 趣味や特技を活かせるよう様々な活動を実施した (医療・福祉サービスとの連携を深め、サービス向上を目指す) ケアカンファレンスの参加等ある一定の成果はあったと思われるが、こちらから積極的に働きかける機会が少なかった為 (要介護者の心身の特性を踏まえ、在宅生活が維持継続できるよう支援する) ミーティング等を実施したが、個々の利用者状況をより細かく把握できるまでには少し至らなかった (情報共有・心身機能維持・精神負担軽減) 月1回の梅の里保育園との交流会を実施する事で利用者さんからも大変喜ばれている また、こちらからも積極的に交流の機会を設けられた (信頼関係づくり) 利用者・ご家族の方からの要望等(例:曜日外利用)に応えられる様サービスを実施した
【今後の取り組み】	(日常生活動作を維持できるよう質の高いサービス提供を目指す) 様々な活動のメニューを確保し、その人にあった活動や選択できる活動等を増やしていく。(医療・福祉サービスとの連携を深め、サービス向上を目指す) 積極的にケアカンファレンスの開催など働きかけ、より連携を深めていく (要介護者の心身の特性を踏まえ、在宅生活が維持継続できるよう支援する) さらに個々の利用者の状態等を把握できるようミーティングやカンファレンスを強化する (情報共有・心身機能維持・精神負担軽減) 利用者の情報共有を密にし、心身機能や精神負担の軽減が図れる空間作りに努める (ノーマライゼーションに向けた世代間交流) 今後も継続して積極的に近隣施設との交流会を継続していく (信頼関係づくり) 今以上に、希望・要望等が言いやすい雰囲気・環境づくりを実施していきたい。その為には日頃のデイでの様子等を情報提供していかなければならない。

第2次地域福祉活動計画評価 (平成24年度社協事業)

【事業名】	障がいデイサービス事業
【基本目標】	充実した生活を支える
【取り組み内容】	障がい者就労支援ネットワークの強化 障がい者雇用についての理解、促進 地域における医療・福祉の充実
【期待される役割】	就労のための環境づくりの支援 物品購入や業務委託等による協力 障がい者支援に対する理解と協力 広く連携できる支援体制の検討 サービス提供体制の充実
【評価点】	3.2点 <達成率64%> (個々のニーズに合わせた個別支援計画の充実) ニーズの多様化で全ての利用者に対しての充実は困難であった。 (年齢等の状況に応じたオリジナリティある活動の充実(創作やレクリエーション等)) 心身の状況や年齢に応じて活動内容を組み合わせたが、全ての利用者に対して満足できるものではなかった。 (障害特性に配慮したサービス満足度の向上(入浴・食事等)とピアサポートの実践) 多くの利用者とのコミュニケーションの時間を増やせるよう、入浴時間の調整や食事の座席の配慮等を行なった。 (作業(畑作業、自販機補充、空き缶潰し)等を通しての社会経済活動への参加促進) 自販機補充は定期的にあるが、空き缶の収集量が少なくなってきた。作業時間が短く、工賃支給まで至っていない。 (支援及び介護技術の研修等の充実(職員のスキルアップ)) 内部研修も含め、外部研修の機会を増やし、先進地域の情報収集や他施設職員との意見交換を行なった。 (関係機関や関連事業所等との連携(ケア会議等含む)) 各種会議等で関係機関や関連事業所との連携を図っている。 (日中活動の場の確保と日中一時支援事業(放課後デイ・長期休暇スクール)の充実) 児童の活動場所は会議室を使用し、年齢に応じた活動内容を行なった。
【今後の取り組み】	(個々のニーズに合わせた個別支援計画の充実) ニーズの再確認を行なうとともに活動内容の見直しを図る。 (年齢等の状況に応じたオリジナリティある活動の充実(創作やレクリエーション等)) Wii(ウィー)を活用した体操やダンス等の充実と創作活動を通じた作品展への出展 (障害特性に配慮したサービス満足度の向上(入浴・食事等)とピアサポートの実践) 自閉症者の個別対応と他の利用者の居場所の確保 (作業(畑作業、自販機補充、空き缶潰し)等を通しての社会経済活動への参加促進) 作業時間の拡大と作業内容の充実、工賃支給の体制作り (支援及び介護技術の研修等の充実(職員のスキルアップ)) 各種研修への積極的参加と新法及び制度等の学習 (関係機関や関連事業所等との連携(ケア会議等含む)) 相談支援事業所や自立支援協議会等との更なる連携の強化 (日中活動の場の確保と日中一時支援事業(放課後デイ・長期休暇スクール)の充実) 児童の活動範囲の見直し

第2次地域福祉活動計画評価 (平成24年度社協事業)

【事業名】	訪問介護事業
【基本目標】	充実した生活を支える
【取り組み内容】	地域における医療・福祉の充実
【期待される役割】	広く連携できる支援体制の検討 サービス提供体制の充実
【評価点】	<p>3.35点 《達成率67%》</p> <p>(関連機関との連携による総合的なサービス提供)</p> <p>ケース記録を毎月ケアマネに文書で報告した。福祉課や訪問系サービスとの連絡も密に行った。</p> <p>(利用者のニーズに寄り添った援助に努める)</p> <p>緊急の訪問にも出来る限り対応し、急なケア内容変更にも柔軟に対応出来た。</p> <p>(利用者の意見や人格を尊重し、適切な介護をする)</p> <p>利用者の精神的な安定に繋がる介護を心がけた。ヘルパーによって意識にバラつきがあった。</p> <p>(スキルアップと人材育成に努める)</p> <p>内部研修は定期的に出来たが、外部研修は充実できなかった。</p> <p>(スタッフ間の連携をを密にし、記録を残す)</p> <p>常勤ミーティングや定例会を通じて連携が取れた。電話連絡やメールでの伝達だけでなく、文書に残すことが習慣づけされた。</p> <p>(スタッフの充実を図り、定着を目指す)</p> <p>職員が辞めていき、定着が難しかった。</p>
【今後の取り組み】	<p>(関連機関との連携による総合的なサービス提供)</p> <p>口頭や電話での連絡事項や報告事項を、文書に残し、ケアに役立てる。</p> <p>(利用者のニーズに寄り添った援助に努める)</p> <p>利用者のニーズに、より敏感に対応する。</p> <p>(利用者の意見や人格を尊重し、適切な介護をする)</p> <p>常に利用者の立場に立ちながら、心のかよったケアをする。</p> <p>(スキルアップと人材育成に努める)</p> <p>定期的な内部研修と共に、外部の研修にも積極的に参加する。</p> <p>(スタッフ間の連携をを密にし、記録を残す)</p> <p>口頭や電話での伝達事項を、文書に残す。</p> <p>(スタッフの充実を図り、定着を目指す)</p> <p>ケア内容を整理したり、より働きやすい環境を整える。</p> <p>公用車の整備や効率の良い訪問体制を整える。</p>

第2次地域福祉活動計画評価 (平成24年度社協事業)

【事業名】	訪問入浴介護事業
【基本目標】	充実した生活を支える
【取り組み内容】	地域における医療・福祉の充実
【期待される役割】	広く連携できる支援体制の検討 サービス提供体制の充実
【評価点】	3.8点 ≪達成率76%≫ (心身の清潔保持、気分転換、機能維持向上が出来たか) 92%が出来ているとの回答あり。 (安全な入浴サービスの提供は出来たか) 92%が出来ているとの回答あり。 (安全衛生管理の徹底は出来たか) 器材の洗浄・消毒の徹底管理 (研修に参加して自己研鑽に努める事は出来たか) 県外しか専門研修がなく、参加しにくい (「訪問入浴介護計画書」通りのサービスの提供は出来たか) 92%が出来ているとの回答あり。 時間変更のお願いの連絡をする事が多い
【今後の取り組み】	(心身の清潔保持、気分転換、機能維持向上が出来たか) 利用者の希望する入浴が提供出来るようにする。 家族が介護しやすい環境を整える (安全な入浴サービスの提供は出来たか) 利用者の体調の変化や異常の早期発見が出来るようにする。 個人の身体の抱え方の違いの把握をする (安全衛生管理の徹底は出来たか) 感染症のある利用者の入浴後の消毒の徹底をする。 サービス提供者の手洗い、消毒の徹底をする (研修に参加して自己研鑽に努める事は出来たか) 訪問入浴専門の研修に参加する 介護関係の研修にパート職員の参加を促す (「訪問入浴介護計画書」通りのサービスの提供は出来たか) 事業所の都合での時間変更や、決められている訪問時間に遅れる事の無いようにする

第2次地域福祉活動計画評価 (平成24年度社協事業)

【事業名】	訪問看護事業
【基本目標】	充実した生活を支える
【取り組み内容】	地域の社会資源を活かしたネットワークづくり 地域における医療・福祉の充実
【期待される役割】	ネットワークづくりに向けた準備 広く連携できる支援体制の検討 サービス提供体制の充実
【評価点】	3.85点 《達成率77%》 (24時間連絡体制の周知) 約72.5%に周知できているが22.5%が知らないと回答がある。しかし、実際には在宅での看取りが増えている。 (希望に応じたサービスの提供) 95%が希望どおり、だいたい希望どおりであると答えている。 (病状に応じた看護の提供) 病状が悪化したと答えた者はいなかった。 (介護負担の軽減) 77%が介護負担が軽減し自分の時間が持てるようになった、介護に対する不安が軽減したと回答ある。 (医療機関、ケアマネジャー等との連携) 今回、訪問看護を利用しているケアマネのみにアンケートをとりアンケートの結果100%が連携できていると回答あった。 診療所の再開や在宅日数の短縮などの医療保険制度の改革により在宅での看取りが増えた。そのため、かかりつけ医やケアマネとの連携がさらに密になった。 (利用者、介護者との信頼関係) 介護で困った時看護師に相談できるかと言う問いに95%が良くできる、大体できると回答しており、出来ないと回答したものはいない。 (リスクマネジメントの評価) 些細なインシデントには報・連・相で終わりインシデントレポート提出していないことが多い。 (研修などに参加し自己研鑽を図る) 平日には時間外で内部研修を行ったり、外部研修に参加している。 (広報活動の実施) 新規集落へ訪問することにより認知度が高まったが、積極的な広報活動はできなかった。

【今後の取り組み】

(24時間連絡体制の周知)

契約時に24時間連絡体制の説明を徹底する。

(希望に応じたサービスの提供)

利用者、介護者の希望に添うような看護が提供できるようスキルアップしていく。

(病状に応じた看護の提供)

在宅療養が継続できるように、今後も異常の早期発見に努め、病状に応じた看護を提供していく。

(介護負担の軽減)

今後も介護負担が軽減し、在宅療養を継続していけるようなケアを提供していく。

(医療機関、ケアマネージャー等との連携)

団塊世代の疾病の増加や医療改革によりますます医療度の高い在宅での介護や看取りが増加すると思われるので、より一層連携を強化していく。

(利用者、介護者との信頼関係)

サービスを提供していく上で、信頼関係がもつとも重要である為、今後も良い人間関係が築けるよう接遇を向上していく。

(リスクマネジメントの評価)

些細なインシデントもレポートを記入して、スタッフで共有しリスク管理をしていく。

(研修などに参加し自己研鑽を図る)

年間の研修計画に沿って積極的に参加していく。

(広報活動の実施)

新しいパンフレットを作成し、広報活動を継続していく。

第2次地域福祉活動計画評価 (平成24年度社協事業)

【事業名】	ケアホーム事業
【基本目標】	充実した生活を支える
【取り組み内容】	障がい者就労支援ネットワークの強化 地域における医療・福祉の充実
【期待される役割】	就労のための環境づくりの支援 広く連携できる支援体制の検討 サービス提供体制の充実
【評価点】	<p>3.6点 《達成率72%》</p> <p>(日常生活上のルールやマナーを習得し、居住しやすい環境の整備)</p> <p>障がい原因という事もあるが、共同生活のルールやマナーが守れなていない入居者がいるため、入居者同士が不満を持っている。</p> <p>(余暇の充実とコミュニケーション重視で心地よい生活を送る)</p> <p>月1回程度の食事会と買い物の行事を実施した。また、作品作りに力を入れ、館内の展示やアート展への出展など本人の意欲向上に努めた。</p> <p>(一時的介護が必要なサービスの充実(短期入所等)と家族等の身体的及び精神的な負担の軽減)</p> <p>ショートステイの定期的な利用も増え、ニーズに対応できていた。</p> <p>(研修等による支援技術の習得とスキルアップ)</p> <p>大型研修会の参加や資格取得のための研修には参加できていたが、直接スキルアップにつながるような研修への参加は少なかった。</p> <p>(報告、連絡、相談の徹底と情報共有)</p> <p>職員数が多くない事もあり、情報共有は密にできていた。だが、変則勤務もあって、情報の伝達が遅れる事もあった。</p>
【今後の取り組み】	<p>(日常生活上のルールやマナーを習得し、居住しやすい環境の整備)</p> <p>ルールやマナーを守る事ができるように、視覚的や機能的に工夫していく。また職員が入居者の間に入り、関係性の改善に努める。</p> <p>(余暇の充実とコミュニケーション重視で心地よい生活を送る)</p> <p>他部署とも協力して、より良い行事を定期的開催していく。</p> <p>(一時的介護が必要なサービスの充実(短期入所等)と家族等の身体的及び精神的な負担の軽減)</p> <p>現在の利用者へのサービスを保ちつつ、職員体制などが可能な限りで、新規利用者の獲得や、利用日数増などのニーズにも対応していく。</p> <p>(研修等による支援技術の習得とスキルアップ)</p> <p>制度や障害者福祉の流れに関する大きい研修への参加も引き続き行いが、入居者に直接関係するピンポイントな研修にも参加していく。</p> <p>(報告、連絡、相談の徹底と情報共有)</p> <p>新設された相談支援事業の担当者との連携も重要になってくるので、他部署の担当者との情報共有も徹底していく。</p>

第2次地域福祉活動計画評価 (平成24年度社協事業)

【事業名】	特別養護老人ホーム事業
【基本目標】	充実した生活を支える
【取り組み内容】	地域における医療・福祉の充実 地域に密着した新たなサービスへの取り組み
【期待される役割】	広く連携できる支援体制の検討 サービス提供体制の充実 地域密着型サービス事業の推進
【評価点】	3.2点 ≪達成率64%≫ (入居者の個性や生活リズム・習慣を大切にしたいその人らしい生活が営まれるように支援する。) 個々の生活や嗜好を大切にしたい取り組みに頑張った。 (入居者の趣味・余暇活動の支援を行う) 全ての入居者への対応は出来なかったが、全体での活動等への参加は出来た。 (入居者が気兼ねする事なく何でも頼める関係作りに努める) 頼みごとを言っても、職員によって対応が違う。 (生活の場として、温もりのある空間作りに努める。) 良くしてもらっている。と聞く反面、職員によっては言葉使い等、冷たく感じる事がある。 (料金に見合ったサービス提供に努める。) 高いと思う事もあるが、預かって欲しい。という思いもある。負担限度額があるため助かる。
【今後の取り組み】	(入居者の個性や生活リズム・習慣を大切にしたいその人らしい生活が営まれるように支援する。) 引続き、より一層努力する。 (入居者の趣味・余暇活動の支援を行う) 個々への対応に取り組む。 (入居者が気兼ねする事なく何でも頼める関係作りに努める) 今以上に要望を聞ける体制作り、要望を叶えるための環境づくりに努める。 (生活の場としての温もりあるのある空間作りに努める。) 入居者への言葉使い、職員同士の言葉使いに気を付ける。 (料金に見合ったサービス提供に努める。) 見合っている。とっていただけるよう、サービス内容や体制の見直しを行う。

第2次地域福祉活動計画評価 (平成24年度社協事業)

【事業名】	認知症対応型グループホーム事業
【基本目標】	充実した生活を支える
【取り組み内容】	地域における医療・福祉の充実 地域に密着した新たなサービスへの取り組み
【期待される役割】	広く連携できる支援体制の検討 サービス提供体制の充実 地域密着型サービス事業の推進
【評価点】	3.1点 《達成率62%》 (共生型の施設作り) 障がいや病気の関係もあり、関わる入居者が限られた人だけになってしまった。食事の運搬や新聞を渡す事で交流する事は毎日できているが、全体で関わっている事は少ない。また、合同での行事は単発で終わってしまい、継続する事ができなかった。 (生きがいを持てる生活作り) 行事については、家族を招いての新年会や、回転寿司への外食など、頻繁にはできていなかったが、入居者や家族共に喜んでいただけた。個別対応については、趣味の活動や生活面での手伝いなど、グループホーム内では対応できていた。 (地域に密着した交流活動の実施) 五湖の郷全体の交流行事への参加は入居者全員でできていた。地域のボランティアにも定期的に来てもらい、関係性も徐々にできてきている。ただ、家族へのアンケートには「分からない」「見えにくい」という意見があった。
【今後の取り組み】	(共生型の施設作り) 無理に一緒にしてしまうと、事故につながりかねないので、グループに分けて合同の行事を実施するなどして、交流できる時間を長くしていく。大々的な行事ではなく、小さい行事から実施していく。 (生きがいを持てる生活作り) 家族にも参加を促す全体的な行事は定着してきたので継続していく。課題としては入居者個別のニーズ(外出など)を反映した活動を充実していく。 (地域に密着した交流活動の実施) 館内の掲示や家族への情報伝達(広報誌など)に力を入れ、交流活動について家族や地域に発信していく必要がある。また、地域の方に来ていただいているケースばかりなので、散歩や地域の食堂や店舗の利用などを積極的に実施していく。

第2次地域福祉活動計画評価 (平成24年度社協事業)

【事業名】	小規模多機能型居宅介護事業
【基本目標】	助け合い共生しあう地域を育てる 充実した生活を支える
【取り組み内容】	身近な支え合い体制の推進 安心して子育てできる環境づくり 地域で集える場づくりの支援 地域の社会資源を活かしたネットワークづくり 安心安全な食の提供 地域に密着した新たなサービスへの取り組み
【期待される役割】	集落内の支え合い体制づくりの推進と支援 要介護者の困りごとを解決するシステムづくりへの協力と研究 集落内の支え合い活動への協力や支援 集落内だけでは解決できない課題への対応 世代間交流の推進 空き家の福祉的利活用について検討 ネットワークづくりに向けた準備 身近な地域での配食サービス体制づくり 空き家の福祉的利活用 地域密着型サービス事業の推進
【評価点】	3.75《達成率 75%》 (一人ひとりの「思い」「願い」「生活リズム」を大切にケアの提供) 利用者の生活リズム、利用者間の会話や体調、天候などに合わせて対応しておりその日に何をすると決めたりすることなく、いい意味で利用者に振り回されるようなケアを提供できている。 (自宅に24時間・365日の安心を届ける継続的支援) 体調や日々の変化に合わせて柔軟にプラン変更を行い、利用者・家族が落ち着いて過ごせるよう対応できた。 利用者・家族からのアンケートにも満足されている様子がうかがえた。 利用者から「ここに来ると落ち着く」という言葉が聞かれる。 (介護の「困った!」に対応する技術の習得と提供) 2年目となり利用者の事が昨年より深く見えてきた。失敗を繰り返しながらも介護への知識や技術も習得できている。 (地域のみんなで検討する機会の確保) 年度の初めに年間行事を区長等、地区の委員に送付し少しでも興味を持ってもらえるよう働きかけた。 地域行事に参加をして、地域の人々の声を聴くことはよくあるのだが、運営推進会議の開催ができておらず検討する機会が不十分である。

【今後の取り組み】

(一人ひとりの「思い」「願い」「生活リズム」を大切にしたケアの提供)

生活に密着した「〇〇したい」という気持ちに対応できるよう、その人らしさにより耳を傾けた個別ケアを図る。

(自宅に24時間・365日の安心を届ける継続的支援)

利用者と家族の要望に応えられるように対応する。

利用者と地域の人とのつながりが途切れないようにする。

地域の人と職員も良好な関係を保つようにする。

(介護の「困った!」に対応する技術の習得と提供)

技術の習得、提供ができてきているものの、まだまだ学ぶべきところが多くあり、利用者・家族の些細な変化に気付き柔軟な対応ができるようにする。

(地域のみんなで検討する機会の確保)

地域行事への参加や地域の人との交流を通じて生の声を聴くとともに、地域の人と検討する機会をもちながら、より良い事業所作りを行う。

第2次地域福祉活動計画評価 (平成24年度社協事業)

【事業名】 職員体制強化計画

【基本目標】

【取り組み内容】

【期待される役割】

【評価点】

2.5点 <達成率 50%>

(1 業務を見直し、組織改革に努めます)

新会計基準に適応し、会計処理の方法の見直しを図った。完全ペーパーレスへの移行はできないが、執行状況が瞬時に確認でき事業ごとの予算管理が明確化できるようになった。開所日数の見直しで適正な人員配置もでき、経費の削減につながり効率的な運用ができた。

(2 福祉サービス提供等事業実施に必要な職員の確保に努めます)

サービス部門の人員配置で有資格者の休暇中の取扱不備の指摘があり、介護報酬の返納に至った。また看護師、介護支援専門員、ホームヘルパーの有資格者についての欠員補充は募集をしても応募に至らないこともあり、困難を極める状況である。年度途中の退職者の発生も多く、緊急的な対応が大変厳しい状況である。

(3 職員の専門性を高めるため各種の資格取得を図ります)

介護福祉士は受験用件を満たす者の積極的な受験が増え、資格保有者も増加した。介護支援専門員は前年より多くが受験したが、全国的な傾向でもあるが合格率は低迷しており昨年の合格者は1名であった。

(4 人事評価制度を導入します)

成績区分を5段階に変更したことで、評価内容が精査でき評価がし易くなった。評価スケジュールの見直しで、6ヶ月間の評価が可能になるが、評価が年度をまたぐことや評価の反映方法について職員への周知が徹底できていないところもあった。個人の評価は全体経営や実績アップに直接に繋がっていない。

(5 職員行動規範を理解し、実践します)

事業所の朝礼で全員唱和の機会をったり、名札裏に行動規範を記したものを常に携帯することで意識付けはでき、実践に繋がってきている状況である。

【今後の取り組み】

(1 業務を見直し、組織改革に努めます)

①業務分担を明確にして職員が具体的な目標が設定できるようにする。

②有資格者の実態を鑑みた提供体制の見直しを図る

(2 福祉サービス提供等事業実施に必要な職員の確保に努めます)

①法令やサービス事業の適正な人員配置数、内容を再度確認し、適正な人員は行なう。

②専門学校、ハローワーク等の求人フェアに積極的参加をし、情報収集を常に行い職員確保に努める。

(3 職員の専門性を高めるため各種の資格取得を図ります)

①資格取得した職員のやりがいに繋がる人材配置を目指す。

②積極的な資格取得を促す。

(4 人事評価制度を導入します)

①評価の適正運用を図り、経営能率の向上、実績アップに繋げるよう努めます。

②パート職員の評価を行なう。

③評価者のための研修を行なう。

(5 職員行動規範を理解し、実践します)

①事業所の朝礼の機会に加え、事業部門の申し送りなどの機会にも行動規範の唱和を実施し、理解を深める。

②実践できているかどうか常に振り返りを心がける。

第2次地域福祉活動計画評価 (平成24年度社協事業)

- 【事業名】 安定的な財政運営
- 【基本目標】
- 【取り組み内容】
- 【期待される役割】
- 【評価点】 2.4点 《達成率 48%》
(努力目標の数値化)
毎月の法人会議で月次試算表を提示し実績管理・予算管理に活用した。
(公費補助金の安定的な確保のため、行政等との定期交流会を開催)
提出物は期日厳守を徹底しているが、交流会等は実施できていない。
(中期的な収支計画の策定)
新規事業や指定管理施設についての中期的試算は提出しているが、他事業についての複数年度にまたがる収支計画は作成できていない。
(会費加入率、募金額の増加に向けた広報強化)
イラストを加えた資料の配布を行い、分かりやすい資料の作成ができた。
社協職員が役員として活動している集落から会費納入額が増えた。
(特別会員の拡大)
新規依頼をした企業の半分以上から納入をしてもらえた。
- 【今後の取り組み】 (努力目標の数値化)
新会計システムを活用し、より正確な実績の把握と事業目標の数値化を目指す。
(公費補助金の安定的な確保のため、行政等との定期交流会を開催)
補助金交付手続きがスムーズできるよう、行政の担当者と連携を図る
(中期的な収支計画の策定)
将来的な設備の改修や入替の計画等も予算計上し、計画的な運営を行なうことが課題である。
(会費加入率、募金額の増加に向けた広報強化)
会費の使い道を社協職員1人ひとり理解できるような「職員間での周知」に取り組む。
(特別会員の拡大)
共同募金との連携を図り、文書だけではなく、電話を通じた呼びかけや各部署の担当者から直接声かけをしていく。

若狭町社会福祉協議会発展強化計画

【使命】

理想の福祉を追求します

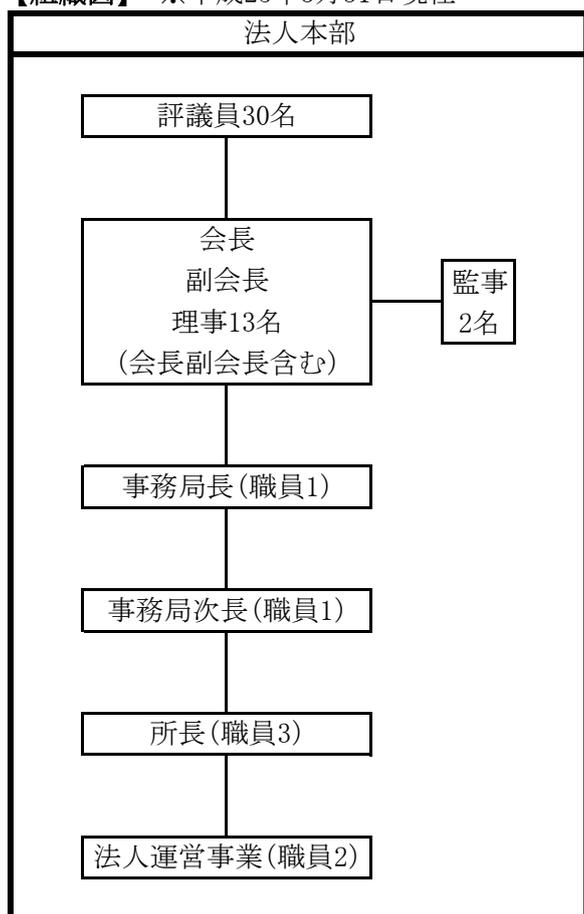
【組織理念】

1. 私たちは、地域と共に歩みます
2. 私たちは、希望ある未来への礎となります
3. 私たちは、信頼され愛され続けるためにたゆみない努力と挑戦を続けます

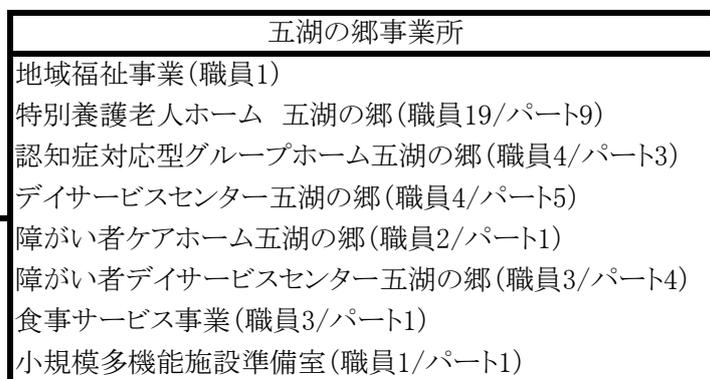
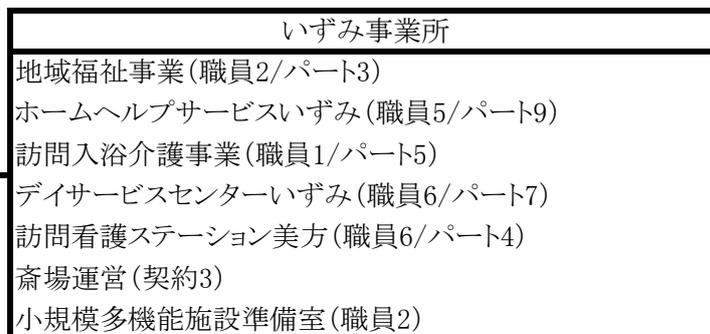
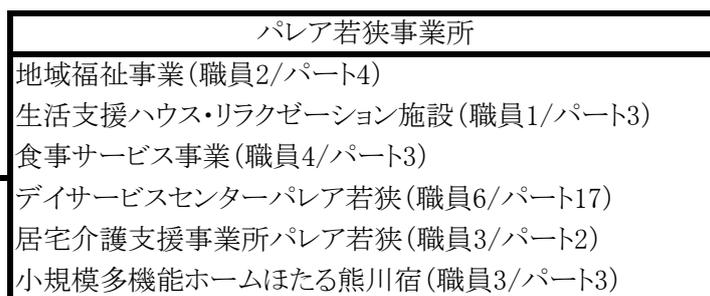
【スローガン】

声をかたちに

【組織図】 ※平成25年3月31日現在



職員職員 85名
 パート職員 84名
 契約職員 3名
 計 172名 (男性39名・女性133名)



【財政状況(主なもの)】

事業区分	収入総額	支出総額	備考	差額
公益等事業	20,166,365	19,650,467	リラクゼーション、葬祭事業	515,898
地域福祉等事業	71,162,184	184,004,189	法人運営事業、共同募金委員会含む	-112,842,005
介護保険等事業	665,632,677	480,870,814	自立支援事業含む	184,761,863
合計	756,961,226	684,525,470		72,435,756